

平成24年3月23日

東山小学校

校長 山内 順一

ひがしやまっ子

1月19日



6・7年生もちつき



楽しい餅つきができたよ

平成23年度も、今日で終りです。今年度が始まる前に、東日本大震災があり、多くの方々が犠牲になり、冥福を祈り、復興を願いつつ1年が過ぎていったように思います。学校として義捐金や復興のための募金活動・被災地へ本を送ったりと、協力してきました。保護者の皆様には、このような助け合いに際して多大な協力をしていただき感謝しています。本当にありがとうございました。この3学期は、1年間のもよみの学期としてとして「校外学習」「授業参観」「東山オリンピック」「おはよう集会(クラブ活動発表会)」「6年生を送る会」そして「卒業式」などに取り組みました。短い学期でしたが、3学期の様子を振り返ってみました。一読していただければ幸いです。

1月19日 竹とん周りに挑戦!

「昔の遊びにチャレンジ」



いっしょに給食食べたよ!



おてだまに挑戦!



2月8日



東山オリンピック

ダンスクラブ(2月10日)



児童集会(クラブ発表会)



ミュージカルクラブ(3月9日)



6年生を送る会(3月8日)



バドミントンクラブ(2月17日)



卒業証書には多くの思い出が詰まっています。その意味を深く考え、そこに関わった多くの人たちの姿を心に浮かべ、周りに感謝できる人間になってほしいという願いを込めて、一人一人に証書を渡しました。そして卒業する皆さんに、「チャレンジ・夢・友だち」の3つの話をしました。

①「チャレンジ」すること。

- ◎ いろいろな体験や学習の機会を見つけ、進んで、チャレンジし、今まで知らなかったことを知ったり、気づかなかったことに気付いたりしたときの感動、発見の驚きと喜びを大切にしてほしいこと。
- ◎ いろいろなことを知ったり、学んだり、それを進んで生かそうとする気持ちをもつこと
- ◎ いつも目を光らせて、チャンスがあればどんなときでも、いち早く知識を受け入れること。
- ◎ 失敗を恐れずに前へ進んでいくこと。
- ◎ 楽しいことやうれしいこと、苦しいことや悲しいこと、いやなことやつまらないことなどをいろいろな体験を通して心の広い、大きな人間になってほしいこと。

②「どんな事にもめあてをもって取り組むこと」

- ◎ 将来の夢の実現に向かって歩みだすときです。小さな夢、身近な事にも、めあてを決めて取り組み、一つ一つやり遂げていく努力をすること。
- ◎ できたときの喜び、やり遂げたという自信を、一つずつ増やしてほしいこと。
- ◎ 強い精神力で、自分の夢に向かって大いに努力すること。

卒業式での話

③「友だちをたくさんもって、共に生きてほしいということ」

- ◎ 相手の立場になって考えたり、人を思いやることの大切さを伝えること
- ◎ どんな時でも支え合い、助け合えば大きな力が生まれてくること
- ◎ 相手の立場になって考えたり、相手の心の痛みを理解してあげることができる人になること。

中学校では、人と人との関わりを大切にしながら、自分の良さをいくつも見つけ、それを伸ばし、夢と希望に満ちた未来へと力強く進んでほしいこと。そして、人の役に立つ人、自分の人生を楽しめる人になってほしいと願っています。

平成23年度 修了式

この1年でいろいろなことができるようになったことについて、4月の入学式・始業式の様子を思い浮かべて考えさせました。新しい学校・新しいクラス・新しい先生・新しい学年・友達と出会えて新鮮な気持ちだったこと。そして、その時よりどれだけたくさんのことが身についたことか？

- ① 漢字が書けるようになったことや、九九が言えるようになったこと。
- ② 割り算の意味ややり方がわかったこと。
- ③ 友達が増えたことや友達に優しい言葉がかけられるようになったこと。
- ④ なわとびの2重跳びや大縄跳びができるようになったこと。
- ⑤ 背が伸びたこと。など

修了式での話

お家へ帰ったら、おうちの人に自分ができるようになったことをじまんしてほしいですが、それらができるようになったのは、自分だけの力ではないことをわかってほしい。おうちの人・先生、そして友達のおかげです。必ず、「ありがとう」と一言感謝の気持ちを表してほしいこと。4月9日の始業式には「+1」の話をすることの予告をして終わりました。

この1年間東山小学校のためにご支援・ご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます！